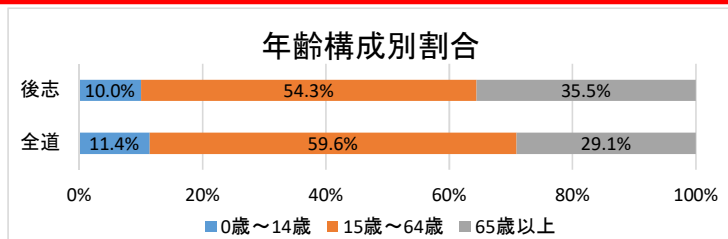


12 後志の保健・医療・福祉

HEALTH・MEDICAL TREATMENT・WELFARE

高齢化率（65歳以上人口の割合）は35.5%であり、全道平均（29.1%）を上回っている。管内には、21の病院と159の診療所がある（令和2年12月1日現在）が、救急患者の夜間・休日対応や産婦人科標榜医療機関の充実など、医療体制の確保が課題となっている。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
後志	16.1%	19.7%	23.4%	27.4%	30.9%	35.5%
全道	12.0%	14.8%	18.2%	21.4%	24.7%	29.1%
全国	12.0%	14.5%	17.1%	19.7%	22.8%	26.6%

平成2年～平成27年国勢調査

医療機能

- ・ 地域センター病院及びへき地医療拠点病院として、俱知安厚生病院が指定。
- ・ 災害拠点病院として俱知安厚生病院及び小樽市立病院が指定。
- ・ 地域がん診療病院として小樽市立病院が指定。
- ・ 重症救急患者の休日・夜間対応は、病院群輪番制参加病院9施設及びその他の救急告示医療機関3施設が実施しており、休日・夜間の小児重症救急患者は小樽協会病院が対応。

みんなで支える安心子育て・健やか子育て

15歳未満の人口の減少（後志管内、住民基本台帳人口）

<平成20年>

15歳未満人口 26,601人
総人口比 11.0%

<平成30年>

15歳未満人口 20,497人
総人口比 9.6%

※ このように少子化が進む状況の中、社会全体で出産や子育てを支援する体制を整えていくことが重要。

少子化対策関連事業

- ・ 第四期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」（令和2年3月策定）に基づき、「子どもや子育てをみんなに応援する」取組みのほか、「結婚・出産」、「子育て」、「子育て・自立」のライフステージごとの切れ目のない支援を実施。

思春期保健対策事業

- ・ 町村や学校及び医療機関など関係機関の連携強化を図り、思春期の子どもの自己決定能力を育成するため、健康教育（思春期教室等）などを実施。

一人ひとりが主役ー健康づくりー

生活習慣病の発症と重症化予防

- ・ 「後志圏域健康づくり事業行動計画」（平成31年3月策定）に基づき、市町村等関係機関と連携し各種の健康づくり対策を実施。
- ・ 適切な食事や適度な運動、たばこ、歯・口腔に関する知識の普及啓発の促進と環境整備の取り組みを実施。

医療連携体制推進事業

- ・ 脳卒中、急性心筋梗塞、がん、糖尿病の医療連携促進と発症、重症化予防を図るため、関係者による情報共有や関連する講演会等を実施。

地域・職域連携推進事業

- ・ 地域保健と職域保健の関係機関が連携・協働し、町村とともに事業所の健康づくりを支援。

みんなが支える明るく活力に満ちた高齢社会づくり

- ・ 令和3年度からの第8期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」は、第7期計画を踏まえ、中長期的な視点に立ち、総人口・現役世代人口が減少する中で、地域によって高齢化の状況や介護需要が異なることを想定しつつ、基本的目標や基本方針を掲げ、地域包括ケアシステムの深化を図る計画とする。
- ・ 基本的目標としては、（1）質の高いサービス提供体制の確保、（2）地域特性に応じた地域包括ケアシステムの推進、（3）高齢者の生活基盤の充実と活躍支援、（4）介護保険制度の安定的な運営、の4つを位置付ける。